

春風とともに、皆さまと株式会社アクロスをつなぐコミュニケーションマガジン

「ACROSS LETTER 第25号」をお届けします。

まだコロナは予断を許さない状況が続いておりますが、

今号では、皆様に交流や情報交換の場として

ご活用いただける会議室のことや大規模修繕について

書かせていただきました。次号は夏(7月)の予定です。

## 最近のアクロス事情

### 新たな交流拠点にご活用ください

前回のアクロスレターでもご紹介させていただきましたが、これまでは6階に応接室と会議室が各1つずつのみでしたが、**4階に応接室を3つ、会議室を1つ新たに設けました。**



**受付の電話**(写真をご参照ください)にてお呼び出しください。

電話台には、消毒液と電子温度計がございますので、お手順をお掛けいたしますが、消毒をした上で、体温もお計り下さい。弊社の社員が対応させていただきます。

また打合せ室には、**パネルも設置**させて頂いております。



会議室では、弊社の社員が全体会議を行う際や、TV会議で使用します。実際にこの会議室で、管理組合様のご要望により、理事会をZOOM会議にて行ったこともございます。

また打合せや理事会をTV会議で行いたいという場合も、ご遠慮なくご要望ください。

また、今後、大会議室の**管理組合様への貸し出しも検討**しております。ご要望がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。(下門雅士)



## 最近の大規模修繕工事事情

### マンションで行う大規模修繕と小規模修繕

改めて言うまでもなく、マンションの修繕には「大規模修繕」と「小規模修繕」の2種類がありますが、**弊社では主に大規模修繕のコンサルタントを業務とし**、また設備改修工事のコンサルタント業務もしております。

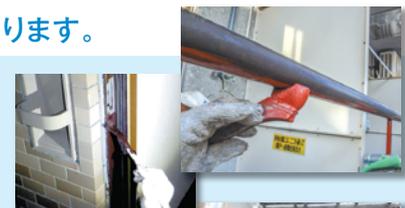
小規模修繕とはマンションの一部や設備、部材などに不具合が発生した場合に修復する工事です。一方、**大規模修繕とは躯体を維持するための補修や共用部分の改修を行い、建物の資産価値を維持するための修繕**のことでです。

アクロスでは、建物調査診断から始まり、改修設計業務、施工会社選定補助業務、工事監理業務までを行います。

■ **マンションの大規模修繕には主に3種類があります。**

#### 鉄部塗装工事

マンションの出入口扉や雨樋、消火栓ボックス、ベランダ手すりなどを塗装する工事のことです。鉄は錆びやすいため、防錆塗料の塗装は約5年ごとを目安に行われます。



#### 外壁塗装工事

足場の設置が必要で、外壁や屋根の塗装、下地やタイルなどの補修などを行います。



#### 屋上防水工事

マンションの屋上やベランダなどを行う防水工事です。防水機能が失われるとコンクリート部分から雨が浸入し建物の寿命に影響が出る恐れがあり、定期的な屋上防水工事が必要になります。



勿論、上記の3種類以外にも工事を行う必要があります。

また大規模修繕工事の修繕時期の目安としては**築後10年~13年周期**となりますので、しっかりと修繕計画を検討していくことが必要となります。

(新川)

## あとがき

現在もコロナ渦により弊社も少なからず影響を受けております。しかしながら、社内打合せやお客様との打合せに関しては、リモート会議にて行う等、臨機応変に対応しながら業務を行っております。皆様にも変わらずお役に立つような、より多くの情報を提供出来ればと思っておりますので、今後も引き続き何卒よろしくお願い致します。

ACROSS LETTER発行人 下門(雅士)、新川

